

新型コロナウイルス感染症への
的確な対策を講じるための緊急要請書

新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣
山際 大志郎 様

厚生労働大臣 後藤 茂之 様

令和4年1月24日
長野県

長野県では、新規陽性者が過去に経験のない規模で増加し、確保病床使用率は36.3%となっているほか、宿泊療養施設の使用率は6割を超えている。今後、重症化リスクが高い高齢者等の陽性者が増加すれば、確保病床使用率は急速に上昇するおそれがある。

さらに、医療機関や福祉施設、事業所、学校等におけるさらなる感染拡大により、療養や濃厚接触による自宅待機を必要とする従事者が増加し続ければ、社会機能の維持に深刻な影響を及ぼす事態も想定される。

こうした状況の中で、1月24日に、長野県として国へまん延防止等重点措置の適用を要請したところであるが、その要請を行うにあたって、的確な新型コロナウイルス感染症への対策を講じるため、下記の点について緊急に要請する。

記

- 1 オミクロン株の特徴を踏まえた対応となるよう、基本的対処方針を見直すこと。
- 2 濃厚接触者の待機期間の更なる短縮など、科学的知見を踏まえて社会機能の維持を考慮した制度の見直しを行うこと。
- 3 まん延防止等重点措置の解除についても、都道府県の要請を踏まえて機動的に行うこと。

長野県知事 阿部 守一